

サブキャラクター

- 衛藤 絢 : 唯為理のストーカー
- 小湊 佐智 : 唯為理の従姉
- 小湊 寧々 : 唯為理と佐智の祖母（登場なし）
- 青柳 文江 : 主人公の祖母
- 青柳 辰雄 : 主人公の祖父（登場なし）
- 牧村 滯 : 主人公の友人

■衛藤 絢（えとう あや）

唯為理のストーカーをしている女性で、年齢は 29 歳。
主に『衛藤さん』と呼ばれる。

職業は OL で、モテ系ファッションの美人。
落ち着いた雰囲気で物腰柔らかく、穏やか。
不自然なほど身なりがよく、全身高価なアイテムを身に着けている。

一見すると、とてもストーカーには見えないが、
唯為理の話題になるとおかしい言動が目立つようになる。

事実無根のことを話したり、
唯為理はまるで、自分の恋人であるかのように扱ったりする。
また、興奮すると非常に早口になり、高圧的で支配的な本性があらわになる。

元は地味でさえない容姿だったが、
ある日唯為理が同人誌即売会に参加すると知り、
唯為理に会うために、現在の美しい容姿に変身した。

唯為理を運命の相手だと信じて疑わず、
つまらない自分を変えてくれる唯一の存在だと思っている。
口癖は『唯為理の事は全部わかる』『私が唯為理を一番幸せにできる』。
主人公にとっては『もう一人の自分』ともいえる存在だが
……。

■小湊 佐智（こみなと さち）

唯為理の従姉で、年齢は 25 歳。
主に『さっちゃん』『佐智さん』と呼ばれる。
職業は看護師で、主人公と唯為理が遊びに来ている
『すずらん市』にある『すずらん市立病院』で働いている。
唯為理から見ると『母親の兄の娘』にあたる。

性格は明るく面倒見がよく、一見唯為理とは対称的だが相性
がいい。

容姿も話し方もヤンキーっぽいがヤンキーではなく、
父親は自衛官、母親は薬剤師、弟は警察官という
わりとガチで日本を守っている一家である。

以前、唯為理たち一家が遠くの地域に引っ越してしまうまで

は、
唯為理を妹のようにかわいがっていた。

その後、唯為理とはずっと会っていなかったが、ストーカーの件で
しばらく小湊家に住むと聞いて積極的に世話を焼く。
元々一人暮らしの寧々を案じて頻繁に遊びに来ていたのもあり、
最近、夜勤の日以外はだいたい小湊家に入り浸っている。

しかし、自分たちでは唯為理の一時的な保護しかできないことを理解しており、
安心して唯為理を任せられる人が現れてくれないかと思っていた。
そんなある日、主人公と出会い『この人なら……』と思うようになっていく。

身内意識が強く、気に入った人間には評価が甘くなり、
気に入らない人間には評価が辛くなるタイプ。

そのため、第一印象からしてとてもよかった主人公のことは相当好き。
『お姉さん』と呼び慕うようになる。
逆に、最悪な印象しかない絢の事は、激しく嫌っている。

■小湊 寧々（こみなと ねね）

唯為理と佐智の祖母で、年齢は 78 歳。
文江の友人でもある。唯為理にとっては『母方の祖母』で、
そのため苗字が違う。

夫を昨年末に亡くしてからは一人暮らしで、
唯為理が小湊家に住むようになったのも、佐智が小湊家に頻
繁に出入りしているのも、
寧々を心配しているところが大きい。
唯為理とはずっと会っていなかったが、ストーカーの件を知
り、
一時的に自宅に住ませる。

しかし、自分たちでは唯為理の一時的な保護しかできないこ
とを理解しており、
安心して唯為理を任せられる人が現れてくれないかと思っ
ていた。

■青柳 文江（あおやぎ ふみえ）

主人公の祖母で、年齢は 85 歳。
主に『おばあちゃん』と呼ばれる。

寧々の友人でもあり、佐智・唯為理とも知り合いで、
すずらん市の各地に友人のいるコミュ強。
主人公から見ると『母方の祖母』。そのため、主人公とは苗
字が違う。

明るく押しの強い性格で、主人公に対しては厳しいようで過

保護気味。

いまだに主人公の事を二十年以上前のノリで可愛がっており、

遊びに来ればものすごく食べさせるし、外に出かける時はめちゃくちゃ着こませる。

主人公も、文江の事は（心の中で）気軽に『ババア！』と呼ぶほど仲がよい。

公園を挟んで向かい側に住む小湊家とは仲良しで、唯為理のことも主人公がやってくる前から知っていた。

しかし、唯為理の事情は特に知らず、主人公同様『時間ができたのでしばらく遊びに来ている』のだと捉えていた。

痛い孫のやる事には慣れっこで、主人公に何が起きても柔軟に対応する。

酒豪。

■青柳 辰雄（あおやぎ たつお）

主人公の祖父で、年齢は 85 歳。

主に『おじいちゃん』と呼ばれる。

主人公から見ると『母方の祖父』。

そのため、主人公とは苗字が違う。

穏やかでのんきな性格で、非常に社交的。

すずらん市だけでなく、日本各地に友人のいる超コミュ強。

そのためだいたい家におらず、友達と遊びまくっている。

主人公に対しては激甘で、主人公の願いを全部聞いては妻や娘に叱られている。

持ち物には強いこだわりがあり、おしやれ。
以前はクラシックカーを乗り回していたが、
最近は年齢を考えて免許は返上しており、
次の車検を前に廃車予定の車は『主人公が遊びに来たときに乗るもの』となっていた。

主人公はこの車に乗って、唯為理と恋することになる。

■牧村 漣（まきむら みお）

主人公の友人で、年齢は 29 歳。

主に『漣』と呼ばれる。

職業は OL。主人公とは地元が同じで、学生自体からの付き合い。

現在も地元におり、そこそこの企業で働いている。

そこそこ裕福な家に育ち、そこそこに優秀で、そこそこの美形。

何をやってもそつなくこなし、苦勞らしい苦勞をした事がないが

その代わり何をやっても一番にはなれず、
また、とにかく気が強くてわがままな性格が問題で、恋人ができて長続きしない。

結果、プライドの高さとコンプレックスの激しさが共存し、他人を下に見ないとやっていけない、天然マウンディング・モラハラ体質。友達に恋人ができたら、デイスらずにはいられないタイプである。

主人公とは、かつてなかなか友人を作れずにいた主人公に声をかけたことがきっかけで親しくなり、同じ学校に進学したころまでは非常に仲がよかった。

そのため社会人となった現在も、主人公のことを、決して自分を裏切らなければ、自分の立場を脅かす事もない、飼い犬のように思っているところがある。

しかし、ある冬、主人公の退職を知らされないまま他の友人から聞き『なぜ教えてくれなかったのか』と深いショックを受ける。そこで、主人公に連絡するが、なぜか電話に出てもらえず、いら立ちを募らせている。

主人公のそこそこハイスぺのくせにいつも自信なさげで、自分に強く出てくることのない姿を見ていると、庇護欲とS心が騒ぐ。

なので実は相当主人公が好きなのだが、まともに人を愛した事がないので、主人公への態度はいつも最悪という、地獄の結果になる。そして、その複雑な想いをうまく表現できないまま……。